

「防災リーダー養成講座」でFG

今年も講師を務めさせていただいた、刈谷市さんでの「防災リーダー養成講座」。この中で、今年はFG（ファシリテーション グラフィック）の講座をさせていただきました。緊急時こそ、アナログの記録が大切ですよね。

☆防災リーダー養成講座

地域の区長さんや防災担当さんから推薦されて参加される、防災リーダー養成講座。「クロスロード」や避難所運営ゲーム（HUG）、図上災害訓練（DIG）などグループワークを組み込みながら、家具固定や避難所の実際、心のケアなど基本的なことを学んでいらっしゃいます。

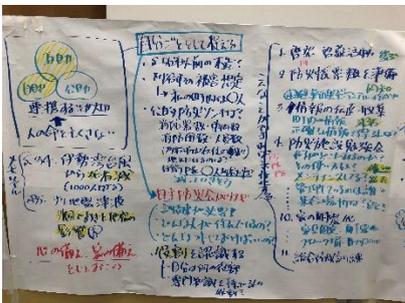
毎年、4日コースの1日目で「クロスロード」講座をさせていただいています。今年も、FG講座も担当しました。

☆クロスロードとは

クロスロード＝分かれ道。少ない情報からYESかNO（必ず、どちらか）で答えていくゲームです。

阪神・淡路大震災の教訓や経験をゲームを通して伝えようというものです。

このゲームを創っていくとき、ファシリテーション協会の関西支部の方も関わっていたので、このころから親しんでいました。



☆なぜ災害とFG(ファシリテーション グラフィック)?

災害時はどうしても停電のリスクが高まります。避難所の受付や避難者への周知、行政での災害対応などなど「記録」の必要性は大変高いにも関わらず、PCやプリンターが使えません。そこで、アナログでの対応となります。手書きで記録を残していくのです。

そこでFGのスキルが求められるのです。恥ずかしがらずに書いてみる！できるだけ書こうとする！そうして記録を残していくのです。

そこで、防災リーダー養成講座でも、あえて、FG講座をしてみました。

参加者のみなさんは、嫌がらずに（むしろ、楽しそうに）FGをしていらっしゃいました。

☆イザというときだけでなく、普段からFGしてくださるとうれしいと思いつつ、講座を終えました。みなさん、ご自分が書かれた模造紙を観て、ご満悦だったようです。